Panasonic

［証券コード：6752］

中間報告

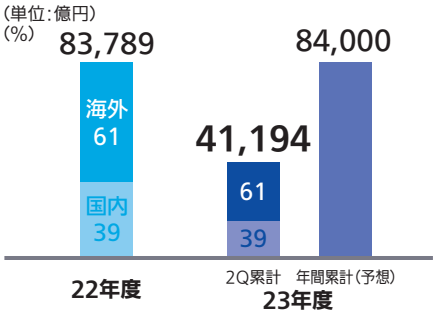
2023年4月1日 - 2023年9月30日

株主の皆様へ

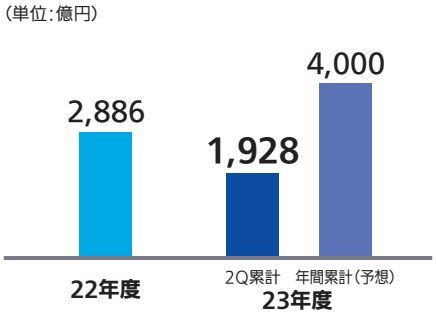
株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。
ここに第117期の中間報告をお届けいたします。

連結財務ハイライト

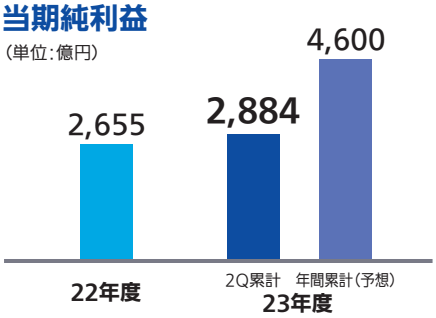
売上高



営業利益



親会社の所有者に帰属する当期純利益



セグメント業績

(単位：億円)

	売上高	前年同期比	営業利益	利益率
報告セグメント		%		%
くらし事業	16,830	98	606	3.6
オートモーティブ	7,082	120	153	2.2
コネクト	5,521	107	162	2.9
インダストリー	5,104	86	132	2.6
エナジー	4,768	101	525	11.0
その他	5,928	102	310	5.2
消去・調整	△4,039	―	40	―
連結決算	41,194	101	1,928	4.7

当社グループ第2四半期累計決算の詳細については、当社ホームページ（https://holdings.panasonic/jp/corporate/investors.html）を参照ください。

(注) 1.「年間累計(予想)」は2023年10月30日時点
2. 各財務数値は国際財務基準(IFRS)に基づき表示しております。
3. 各報告セグメントの売上高の前年同期比は、2023年4月1日付の形態に合わせて算出したものです。

概　況

当社グループの第２四半期累計の連結売上高は、4兆1,194億円(前年同期比1%増)となりました。インダストリーが大きく減収となりましたが、オートモーティブ・コネクト・車載電池の販売増に加え、為替換算の影響もあり、増収となりました。

営業利益は1,928億円(前年同期比29%増)、税引前利益は2,243億円(前年同期比35%増)となりました。戦略投資などの固定費の増加や原材料高騰の影響はありましたが、価格改定・合理化の進捗や為替の影響に加え、米国インフレ抑制法に係る補助金の計上などにより、増益となりました。

また、親会社の所有者に帰属する当期純利益は、上記に加え、パナソニック液晶ディスプレイ㈱の解散(特別清算)および同社に対する債権放棄を決議したことに伴う法人所得税費用の減少があったことから、2,884億円(前年同期比169%増)と大幅増益となりました。

Topics
トピックス

パナソニック㈱

IoTソリューション、カーボンニュートラル実現に向けた開発拠点を開設

2023年5月、大阪府門真市と滋賀県草津市にあった拠点を人材の集まりやすい大阪・梅田に集約。成長事業である空質空調事業のAI・クラウドを活用したソリューション事業開発に特化した拠点「SOLUTIONS GATE OSAKA UMEDA」を開設。

同年6月には草津新棟の稼働が開始。カーボンニュートラル実現に向けて、ZEH（ネットゼロエネルギーハウス）対応や自然冷媒など、地球環境に優しい技術開発強化を目標に新たな研究設備を導入。また、建物に当社製の空調・換気・照明などの省エネ製品を採用し、ZEB Ready※の認証を取得。今後も、社会課題解決に貢献できる技術開発に投資していきます。

SOLUTIONS GATE OSAKA UMEDA

※ZEB Ready：「ZEB（ネットゼロエネルギービル）」を見据えた先進建築物として、外皮の高断熱化および高効率な省エネルギー設備を備えた建築物

パナソニック㈱
https://www.panasonic.com/jp/about.html

パナソニック オートモーティブシステムズ㈱

ドライバーの安全・安心の向上に貢献し、交通事故ゼロ社会を目指す

ドライバーの安全・安心に関する意識の高まりにより、車載リアカメラの需要が増えており、当社では広画角かつ高い視認性を持つ車載リアビューカメラを発売。

2023年1月には、トヨタ自動車㈱の「プリウス」に車両後退時の接触事故を防ぐ歩行者検知機能付き車載リアカメラが採用。検知機能の追加による発熱量が増加するところを、消費電力低減や放熱構造の工夫などにより従来モデルよりも小型化に成功。

今後は、国内だけでなく海外市場の交通事故ゼロ社会にも貢献していきます。

歩行者検知機能付き車載リアカメラ

パナソニック オートモーティブシステムズ㈱
https://automotive.panasonic.com/

パナソニック エンターテインメント&コミュニケーション㈱

「くらしスタイルseries」商品で新たな体験価値を提案

当社では、お客様のライフスタイルの変化に合わせ、新たな体験価値をお届けする「くらしスタイルseries」を展開。

自宅で過ごす時間の増加に伴い、テレビの視聴時間が増えたことで持ち運びできるポータブルテレビが注目されています。4K映像の無線伝送技術を駆使し、好きな場所で映像を楽しめるレイアウトフリーテレビの発売を皮切りに、2023年5月に家じゅう持ち運べるポータブルテレビのプライベート・ビエラの新商品（UN-15LD12H／UN-15L12H）を発売。「テレビの場所が自由になると、くらしはもっと自由になる。」をコンセプトに販売取り組みを強化していきます。

上：UN-15LD12H　下：UN-15L12H

パナソニック エンターテインメント&コミュニケーション㈱
https://www.panasonic.com/jp/peac/corporate-profile.html

パナソニック ハウジングソリューションズ㈱

断熱性能とデザイン性を両立したシャノンウインドNS50を発売

脱炭素社会実現に向けて、2030年までに家庭部門の温室効果ガス排出量66%削減が目標※1となっております。家庭部門のエネルギー消費量の抑制をするには住宅の断熱性能の向上、特に開口部（窓）の断熱性能向上が必要です。

2023年5月、連結子会社のエクセルシャノン㈱が国内最高クラスの断熱性能とデザイン性を両立したシャノンウインドNS50を発売。NS50ではフレームを全面新設計することで既存製品※2に比べ断熱性能が向上し、フレームの見た目の厚さを1～2割程度スリム化することに成功。「Panasonic GREEN IMPACT」の取り組みとしてカーボンニュートラル社会の実現に貢献していきます。

シャノンウインドNS50採用例

※1 地球温暖化策推進法に基づく政府の総合計画
※2 トリプルシャノンⅡx

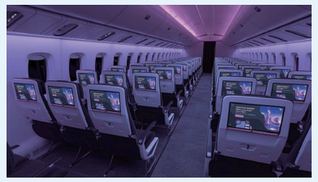
パナソニック ハウジングソリューションズ㈱
https://panasonic.co.jp/phs/

パナソニック コネクト㈱

「Astrova」サウディア、ユナイテッド航空との契約締結

2023年6月、ユナイテッド航空、サウジアラビア王国の航空会社サウディアと機内エンターテインメントシステム「Astrova（アストローバ）」の納入に関する契約を締結。

「Astrova」は4K OLEDテクノロジー技術を採用する最初のIFE（機内エンターテインメント）ソリューションです。さらに最新のBluetoothテクノロジーによって、高い忠実度の3D空間オーディオを実現し、「乗客に完全な没入体験」を提供することが可能です。今後も「Astrova」では、他のIFEソリューションより効果的にキャビン体験での乗客エンゲージメントの最適化を続けていきます。


ユナイテッド航空機内イメージ

パナソニック コネクト㈱
https://connect.panasonic.com/jp-ja/

パナソニック インダストリー㈱

業界初※、家畜由来のバイオメタンを工場電力と製品材料に活用

当社とエア・ウォーター㈱は、環境負荷低減と地域貢献を両立する地産地消のエネルギー活用モデルを構築。電機・デバイス業界内初となる家畜ふん尿から製造したバイオメタンを工場電力と製品材料に利用する取り組みです。

工場の敷地内に発電設備を導入し、家畜ふん尿由来のバイオメタンを使用。これにより工場から排出されるCO_2は2027年度に2022年度比で約5割以上削減される見込みです。引き続き、目標である「2030年の製造拠点CO_2排出量実質ゼロ化」に向け、取り組みを強化していきます。

バイオメタンを活用する北海道 帯広工場

※ 電機・デバイス業界内（2023年7月現在 パナソニック インダストリー／エア・ウォーター調べ）

パナソニック インダストリー㈱
https://www.panasonic.com/jp/industry.html

パナソニック エナジー㈱

「統合レポート2023」を発行、ESG視点で経営を総括

2023年9月、当社は環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の観点で、経営活動を総括した初めての「統合レポート」を発行。

株主・投資家をはじめ、様々なステークホルダーの皆様に、当社電池事業の強みや戦略、業績を伝えるとともに、当社のサステナビリティに関する考え方やESGの視点で取り組むべき重要課題とその方針、取り組み内容などを、財務・非財務情報を交え総合的にかつわかりやすく報告しています。

パナソニック エナジーは、事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献するとともに、幅広いステークホルダーの皆様との対話を進めていきます。

パナソニック エナジー
「統合レポート2023」

パナソニック エナジー㈱
https://www.panasonic.com/jp/energy/

（サステナビリティページ）

株式情報

株式の状況&所有者別分布

2023年9月30日現在

発行済株式総数……2,454,261,297株

株主数……439,101名

株主メモ

証券コード	6752
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月に開催
基準日	定時株主総会　3月31日 期末配当　3月31日　中間配当　9月30日
公告方法	電子公告 https://holdings.panasonic/jp/corporate/investors/stock/public-notice.html ただし、やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載
単元株式数	100株

上場取引所	東京・名古屋
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
＜郵便物送付先＞	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
＜電話照会先＞	フリーダイヤル　**0120-782-031** （受付時間 9:00-17:00、土・日・休日を除く）
〈インターネットホームページURL〉	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

株主総会資料の書面交付請求手続きのご案内

株主総会資料は、原則、電子化され、当社ウェブサイト等でご確認いただくことになりました。当社も会社法の主旨や紙資源の削減に繋がることなどを踏まえ、来年度以降は書面で送付する株主総会資料の内容を絞り込む予定です。

引き続き、一定の内容について書面送付を希望される株主様は、以下のとおり書面交付請求のお手続きをお願い申しあげます。

- 証券会社にお申し出の場合は、口座を開設している証券会社にお問い合わせください。
- 当社株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出の場合は、申出書面のご提出が必要です。同社にご連絡のうえ、申出書面を請求ください。**三井住友信託銀行 証券代行部 0120-533-600** 受付時間 9:00-17:00（土・日・休日を除く）

注）1. 2024年6月定時株主総会に関する書面交付請求は**2024年3月末日までに手続きを完了**ください。
2. 一連のお手続きには費用がかかる場合があります。

配当金を「配当金領収証」との引換えでお受け取りの株主様へ

銀行口座等への振込手続きのご案内

配当金を銀行等の預金口座へ入金する方法（右記の3種類からお選びください）を選択いただきますと、配当金支払開始日に株主様のご指定の口座に振り込まれ、**迅速かつ安全・確実に配当金をお受け取りいただくことができます**。ご検討くださいますようお願い申しあげます。

※少額投資非課税口座（NISA口座）を開設し、配当金について非課税の適用を受けるためには、**株式数比例配分方式**をご選択いただく必要があります。

株式数比例配分方式	登録配当金受領口座方式	個別銘柄指定方式
ご所有すべての株式等の配当金を証券会社の口座を通して受領する方式です。	ご所有すべての株式等の配当金をご指定の1つの銀行等の預金口座で受領する方式です。	ご所有の銘柄ごとに指定した銀行等の預金口座で配当金を受領する方式です。

＜お問い合わせ先＞
- **証券会社の口座で株式を保有されている株主様：お取引の証券会社**
- それ以外の株主様：三井住友信託銀行 証券代行部
  フリーダイヤル **0120-782-031**（受付時間 9:00-17:00、土・日・休日を除く）

パナソニック ホールディングス株式会社

〒571-8501　大阪府門真市大字門真1006番地
TEL　06（6908）1121

英文社名：Panasonic Holdings Corporation
設立年月：1935年12月〈創業1918年3月〉
資本金：259,445百万円

※業績予想は、2023年10月30日時点で入手可能な情報と、当社が合理的であると判断する一定の前提に基づいており、経済情勢、産業界・消費者の需要の変動、為替相場の過度な変動、資金調達環境の変化などの様々な要因により、実際の業績は予想と大きく異なることがありえます。